

## お詫び

6月11日に行われた日本大学教職員組合の会見の際、強制的な配置転換に言及したなかで配慮を欠いた不適切な発言をしてしまい、多くの皆さまにご不快な思いをさせてしまいました。ここに、心より深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

学校法人日本大学は、全国に11の高等学校・中学校を運営しております。教員の大半は、自分で希望を出さない限り、同じ高校に定年まで在職し続けることができるようになっておりますので、勤務先の高校への通勤の便の良いところに家族と共に住まい、長年にわたってその高校及び生徒・保護者・卒業生たちと継続的に深く関わりながら、愛校心を持ちながら教員生活を積み重ねていくこととなります。

ところが、時に教員本人が決して望まない強制的な配置転換を強いられることが実際に起こっており（私たちが会見の際に述べた報復人事に該当するものです）、その中には、引っ越しを伴う異動を突如命ぜられ、本人が納得しないまま結果的に従わざるを得なかったケースもあります。

そのことを、経緯や背景を含めてきちんと説明しないまま、配慮を欠いた不適切な発言をしてしまいました。誠に申し訳ございませんでした。ご指摘いただきましたことを心に深く刻み込み、私たち一同、今後このようなことがないように反省し注意していきたいと存じます。

今後とも、ご教導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2018年6月14日  
日本大学教職員組合